



校報 美原

学校教育目標

- ◆進んで学ぶ生徒
- ◆心豊かな生徒
- ◆たくましい生徒

所沢市立美原中学校

所沢市並木5-2 Tel 04-2995-5111

平成17年度 第15号

11月25日 (金)

よく見 よく考え 実行する

朝会
講話

あなたは何かができますか。地域・学校ボランティアで...

11/17 校長 嶋田 恵一朗

バスの停留所を通りかかると、タバコの投げ捨てをせっせと拾っている人がいました。「ありがとうございます」と声をかけると、「おはようございます。ちょっとの間でもきれいにしなければとおもってね」と答えながら、手を休めずに、スーパーの買い物袋に拾い集めています。袋の中はかなりの量になっています。くしゃくしゃに丸めた空き箱も入っています。

近所の人に聞くとこの人は毎朝、散歩がてらにバスの停留所をきれいにしているとのことでした。誰に頼まれたわけでもないのに、「少しでもきれいに」という気持ちでやっているのです。

タバコの投げ捨て、その空き箱、時には空き缶などもあるかもしれません。皆さんも、あたり一面のこんな状態を想像するのはそんなに難くないでしょう。

バス停で待つ人もいやになるでしょうし、近所に住む人も大迷惑です。この人のおかげできれいに綺麗、バスの利用者や近所の人にとって大変ありがたいことです。

捨てた一人の人にしてみれば、「ひとつづらいいいだろう」と捨てたものが、この状態にまで波及する。」

少し視点を変えますが、美原中学校では今年もミッションM・Iで「落ち葉掃き」運動が展開されます。(一部では生徒会、委員会、保護者の方でスタートしています…今日もしていただいています)

さて、夏休み前全校集会で話したことは頭の中にありますか。それはこんな話でした『同情して援助する』の(あるいはボランティアの一端として貢献するのに) ①『一番やさしいのはお金を出すこと』、②『次にやさしいのは物を出すこと』 ③『難しいのは労力を提供すること』。

『労力の提供』は、結局、自分のしたいことをしないで、その時間とエネルギーを含めて提供することです。

生徒の皆さんも、日ごろからの学校の中で生徒会や委員会の活動として、該当することがたくさんあると思います。赤い羽根募金や古紙回収。先日の生徒朝会では、『美原中を見守るおやじの会』の皆さんへマフラーのプレゼントもありました。

2年半前に発足したこの『おやじの会』の皆さんは、毎月2回週末、美原中学校区を中心にパトロールや声掛けを続けています。また、巡回、立ち寄っている公園などのごみも目に付くということで、先ほどのバス停の話ではありませんが、今では、『スーパーのバッグ』が必携品となり、毎回袋いっぱいのごみになるとのことです。③『難しいのは労力を提供すること』。結局、自分の時間とエネルギーを含めて地域や学校のために努力していただいている。提供していただいている。大変ありがたいことと感謝しています。

終わりになりますが、この話の中で、あなたの心にとどまる(ボランティア) ところはどこですか。あなたが できることは何ですか。

教室内で、廊下で、昇降口や花壇、校庭の周り、通学路あるいは家の周り。地域ではどうでしょう。ぜひ自分の実行できるところから実践してください。学校の中はもちろん地域の中でも活いきる美原中生であってほしいと思います。